

## 2013 年上半期（1-6 月）課税出荷数量ヘッドライン

### 1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、マイナス（▲0.9%）。1-5 月は新商品好調もありプラス（+0.0%）で推移したが、6 月は出荷日減の影響でマイナス（▲4.1%）。1-6 月トータルでもマイナスになった。
- ◆ ビール市場は、マイナス（▲1.9%）。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス（▲6.3%）。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス（+2.7%）。構成比は 37.9%に。

### 2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、市場同様にマイナス（▲2.5%）。
- ◆ ビール計は、マイナス（▲3.5%）。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス（▲5.8%）。
- ◆ 新ジャンル計は、プラス（+0.9%）。

#### 《ビール》

- ビールカテゴリはマイナス（▲3.5%）となったものの、飲食店向けの「一番搾りフローズン」「一番搾りツトン生」が好調に推移したことにより、ビール大樽計はプラス。

#### 《発泡酒》

- 発泡酒カテゴリはマイナス（▲5.8%）となったものの、市場平均を上回った。
- 発泡酒市場に占めるシェアは 7 割を超え、上半期としては過去最大を記録。

#### 《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリはプラス（+0.9%）。「のどごし〈生〉」は、各社の新商品などの影響を受けマイナスとなったが、新 CM「のどごしドリーム」効果もあり、足元の状況は改善。
- 5 月に発売した新商品「澄みきり」は、年間目標の約 4 割となる 187 万ケースを販売。7 月上旬には、200 万ケースを突破するなど、好調な販売を継続。

※ ブランド別の対前年比は販売数による。

※ ケースは大びん換算による。

以 上